任意接種

9 不活化ワクチン

B型肝炎

B型肝炎ってどんな病気？

❶お母さんがキャリア（血液中に大量の感染ウイルスを持っている人）の場合はほぼ100%新生児に感染します。

❷B型肝炎抗原陽性の血液の輸血や陽性の人との性行為などで高頻度に感染するウイルス性疾患です。感染すると慢性肝炎にかかり、肝硬変、肝臓がんへと進行する人もあります。

接種を受ける時期と間隔は？

●対象者❶

母子感染防止の対象者、B型肝炎抗原陽性の母親から生まれたお子さん（必須）。

●回数

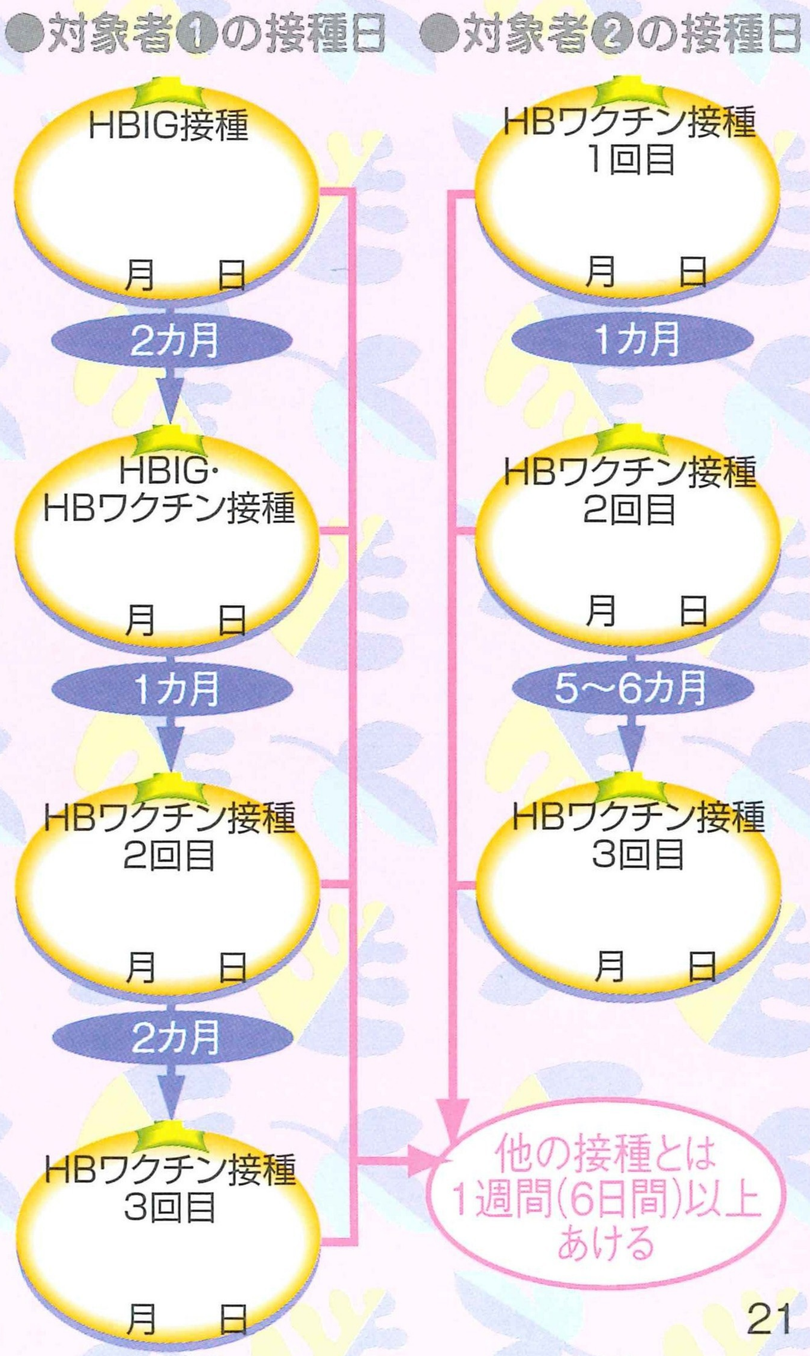
生後48時間以内にHBIG（B型肝炎免疫グロブリン）を注射。生後2カ月目にHBIGとHBワクチン（B型肝炎ワクチン）を注射。生後3カ月目、生後5カ月目にそれぞれHBワクチンを注射。

●対象者❷

キャリアからの感染の危険性が高い人、長期海外生活をする人（外国では日本よりキャリアの人が多いため）。

●回数

B型肝炎抗体陰性を確認後、3回の注射（1回目から1カ月後に2回目、その後5〜6カ月後に3回目）



B型肝炎ワクチンの副反応は？

●副反応はとくにありません。